

特発性大腿骨頭壊死症を 知ってください

山口県特発性大腿骨頭壊死症患者会

おれんじの会

特発性大腿骨頭壊死症とは

脚の付け根の骨(大腿骨頭)に行く細い血管が詰まって、骨が死んでしまいます。心筋梗塞などと同じことです。ここに体重がかかると潰れて痛みや関節の機能障害を引き起こします。

ばい菌が入って骨が腐るのではありません。

年間に2000人くらいの新たな患者さんが発生するそうです。

原因はまだよくわかっていません。病気の治療でステロイドを使った後に発生しやすいことや、アルコールを愛飲する人に起こりやすいことが知られています。

特定疾患（難病）です。

厚生労働省の難治性疾患等克服研究事業に基づく医療費助成の対象疾患（現在56疾患）に指定されています。

医療費助成は世帯収入に応じて無料から段階的に、月額5750円（通院）・11500円（入院）の限度額まで自己負担があります。

重症者（身体障害者手帳2級以上）は医療費の自己負担がありません。

軽快者（病状が安定して特別な治療を必要としなくなったもの）に認定されると通常の健康保険の自己負担となります。（病状が悪化した場合は申請して再認定されれば医療費助成を受けることになります。）

病気の進行



骨に血液が行かなくなって、
一部が死んでしまいます。
(壊死)。赤く塗ったところ。

壊死した骨がつぶれ
骨頭が陥没してきます。

関節全体に変形
がおきます。

早期診断；MRI

単純エックス線写真が正常でも、MRIではバンドと呼ばれる病変がある。



単純エックス線



MRI



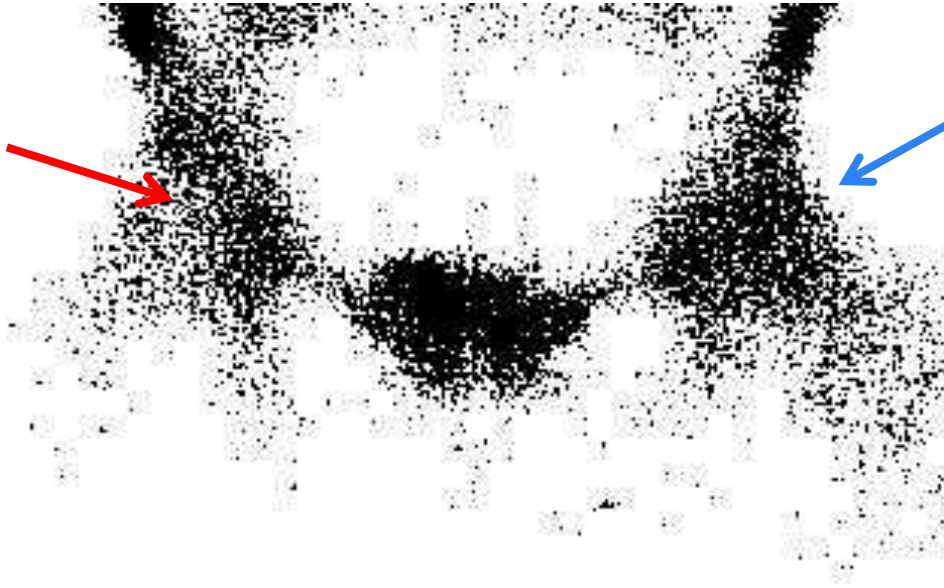
単純エックス線



MRI

早期診断；骨シンチグラフィ

骨頭壊死症では
中に白い部分が出
る



正常の大腿骨頭
は黒くうつる

保存的治療（手術をしない）

負担がかからないように、
杖を持って歩く。

体重を増やさない。

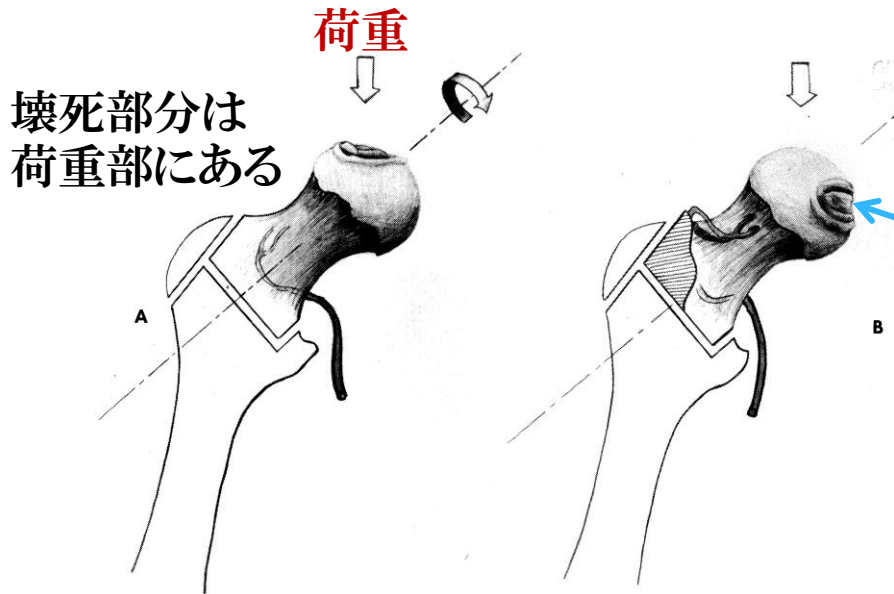


筋力トレーニングやストレッチは
積極的にやる。

水泳、水中ウォークが良い

治療方法（骨切り術）

前方回転骨切り術



壊死部分が荷重部からはずれる

骨切り術用の固定金具



治療方法(人工關節全置換術)



人工股關節全置換術

人工關節



患者の生活上の困難

痛み;痛いときは全く動かない。寝ていても痛くて目が覚める。毎日が痛みとの闘い

周囲の理解;病気自体、知名度がない。
日常生活に痛みが付きまとうことがどれだけ苦痛か、わかってもらえない。
外見でわからない。

歩行困難;足を上げられない。階段が無理。和式トイレが使えない。靴下を自分ではけない。長距離は歩けない。

社会参加制限;元の仕事ができず、戻れない。失業したが、今の体の状態では仕事がない。子供の運動会に行かれない。買い物に行かれない。

治療方法の迷い;若いので人工関節にしたくない。何度も手術したくない。

社会保障制度上の問題

発病初期のもっとも痛みが激しい時期に、確定診断がつくまでは特定疾患医療受給制度が使えない。患者は疲弊してしまう。

青壮年期の発病が多いので、介護保険制度は使えない。

人工関節置換手術後には、痛みも機能も良くなっているが、身体障害者手帳4級となる。手術をしていない場合、どんなに痛みや活動制限があっても手帳の対象とはならないことが多い。